

ハスカップ 思い出ください 市美術館

苫小牧市美術館は、市民から「ハスカップにまつわる思い出」を募集している。地元NPO法人と連携して今月から取り組んでいる調査の一環。「ふるさとを代表する植物の歩みを記録として残したい。ささいな情報でも、気軽に寄せてほしい」と呼び掛ける。

ハスカップは、苫小牧東部に広がる勇払原野でかつて多く自生していたが、工業用地の苫小牧東部地域(苫東)の開発に伴って野生の群生地が縮小した。現在も勇払原野が国内唯一の群生地とされているが、詳しい分布や植生は分かっていない。

同館は今月、苫東で群生地保護を手がけるNPO法人苫東環境コモンズと連携し、植生調査や市民への聞き取りに着手。

歴史を体系的に記録した資料が少なく、開発前の様子を知る人も高齢になっている中、「ハスカップの価値を、あらため



「古里の象徴 記録したい」

て捉えなおしたい」(同法人)と連携が実現した。

植生調査は、苫東内を同法人が、それ以外の市内全域を同館が担当。聞き取り調査では、同法人が高齢者らのインタビューを担当し、同館は広く市民から思い出話を募ることにした。

思い出話は、「祖母や母がジャムを作ってくれた」「毎年夏に仕込む塩漬けが常備菜の一つだった」など生活の中に身近にあったハスカップの姿から、「実を摘んで市街地に売りに行った」など群生地での体験まで、幅広い内容を想定している。

締め切りは12月末。問い合わせは同館
☎0144・35・2550へ。

(荒井友香)